

平成 24 年夏期（7 月～9 月）の熱中症による救急搬送の状況

消防庁では、夏期（7 月～ 9 月）の熱中症による救急搬送状況
について取りまとめましたので、その概要を公表します。

【資料】

[平成24年夏期（7月～9月）の熱中症による救急搬送状況](#)
[平成24年9月の熱中症による救急搬送状況](#)



(連絡先)
消防庁救急企画室
担当：日野原・伊藤・早川
電 話：03-5253-7529
FAX：03-5253-7539

平成24年夏期(7月～9月)の熱中症による救急搬送状況の概要

(「夏期(7月～9月)」を以下、「夏期」という。)

平成24年夏期の救急搬送状況について取りまとめたところ、その概要は以下のとおりでした。

1 ポイント

- ・平成24年夏期の全国における熱中症による救急搬送人員は43,864人でした。これは、平成20年の調査開始以来、平成22年に次ぐ搬送人員数となりました。
- ・救急搬送人員の年齢区分をみると、高齢者(65歳以上)が19,848人(45.2%)と最も多く、次いで成人(18歳以上65歳未満)17,518人(39.9%)、少年(7歳以上18歳未満)6,121人(14.0%)、乳幼児(生後28日以上7歳未満)372人(0.8%)の順となっています。
- ・医療機関での初診時における傷病程度をみると、軽症が最も多く28,146人(64.2%)、次いで中等症14,248人(32.5%)、重症940人(2.1%)、死亡は73人(0.2%)の順となっています。
- ・都道府県別の救急搬送人員は、東京都が最も多く3,090人で、次いで埼玉県2,847人、大阪府2,749人となっており、大都市を含む都府県が多くなっています。
一方、都道府県別人口10万人当たりの救急搬送人員についてみると、鳥取県が最多で59.29人、次いで島根県57.85人、岡山県54.49人、京都府50.34人、秋田県48.80人でした。

注) : なお、今年度の調査開始日(平成24年5月28日(月))から調査終了日(平成24年9月30日(日))までの熱中症による救急搬送人員は45,834人でした。

2 その他

- ・熱中症を予防するには、暑さを避け、こまめに水分を補給し、急に暑くなる日には注意することなどが必要です。また、高齢者は温度に対する皮膚の感受性が低下し、暑さを自覚できにくくなるので、屋内においても熱中症になることがありますので注意が必要です。
- ・政府では、国民へ熱中症に対する注意を呼びかけるとともに、下記のHPで熱中症の情報を提供しています。
環境省熱中症情報 http://www.env.go.jp/chemi/heat_stroke/

参考(気象庁「夏(6月～8月)の天候」、「9月の天候」より)

太平洋高気圧が日本の東海上で強く、本州付近に張り出したため、夏の気温は北日本から西日本で高く、7月中旬後半、7月下旬中頃から8月上旬中頃、及び8月後半を中心として猛暑日になった所があった。一方、6～7月にかけてはオホーツク海高気圧がしばしば現れたため、北・東日本太平洋側では、冷たく湿った東よりの気流の影響により、気温が平年を大幅に下回った日もあった。

9月上・中旬は、日本の東海上で太平洋高気圧の勢力が非常に強く、北・東日本では、高気圧に覆われて晴れたことや、高気圧の張り出しに伴い南から暖かい空気が流れ込んだことなどにより気温がかなり高く、北日本では月平均気温が統計を開始した1946年以降で最も高くなり、記録的な高温となった。また、秋雨前線の日本付近での活動は下旬の一時的なもののみで、東日本の月間日照時間はかなり多くなり、特に東日本 日本海側では統計を開始した1946年以降で最も多くなった。

平成24年夏期(7月～9月)の熱中症による救急搬送状況の概要

(「夏期(7月～9月)」を以下、「夏期」という。)

平成24年夏期の救急搬送状況について取りまとめたところ、その概要は以下のとおりでした。

1 ポイント

- ・平成24年夏期の全国における熱中症による救急搬送人員は43,864人でした。これは、平成20年の調査開始以来、平成22年に次ぐ搬送人員数となりました。
- ・救急搬送人員の年齢区分をみると、高齢者(65歳以上)が19,848人(45.2%)と最も多く、次いで成人(18歳以上65歳未満)17,518人(39.9%)、少年(7歳以上18歳未満)6,121人(14.0%)、乳幼児(生後28日以上7歳未満)372人(0.8%)の順となっています。
- ・医療機関での初診時における傷病程度をみると、軽症が最も多く28,146人(64.2%)、次いで中等症14,248人(32.5%)、重症940人(2.1%)、死亡は73人(0.2%)の順となっています。
- ・都道府県別の救急搬送人員は、東京都が最も多く3,090人で、次いで埼玉県2,847人、大阪府2,749人となっており、大都市を含む都府県が多くなっています。
一方、都道府県別人口10万人当たりの救急搬送人員についてみると、鳥取県が最多で59.29人、次いで島根県57.85人、岡山県54.49人、京都府50.34人、秋田県48.80人でした。

注) : なお、今年度の調査開始日(平成24年5月28日(月))から調査終了日(平成24年9月30日(日))までの熱中症による救急搬送人員は45,834人でした。

2 その他

- ・熱中症を予防するには、暑さを避け、こまめに水分を補給し、急に暑くなる日には注意することなどが必要です。また、高齢者は温度に対する皮膚の感受性が低下し、暑さを自覚できにくくなるので、屋内においても熱中症になることがありますので注意が必要です。
- ・政府では、国民へ熱中症に対する注意を呼びかけるとともに、下記のHPで熱中症の情報を提供しています。
環境省熱中症情報 http://www.env.go.jp/chemi/heat_stroke/

参考(気象庁「夏(6月～8月)の天候」、「9月の天候」より)

太平洋高気圧が日本の東海上で強く、本州付近に張り出したため、夏の気温は北日本から西日本で高く、7月中旬後半、7月下旬中頃から8月上旬中頃、及び8月後半を中心として猛暑日になった所があった。一方、6～7月にかけてはオホーツク海高気圧がしばしば現れたため、北・東日本太平洋側では、冷たく湿った東よりの気流の影響により、気温が平年を大幅に下回った日もあった。

9月上・中旬は、日本の東海上で太平洋高気圧の勢力が非常に強く、北・東日本では、高気圧に覆われて晴れたことや、高気圧の張り出しに伴い南から暖かい空気が流れ込んだことなどにより気温がかなり高く、北日本では月平均気温が統計を開始した1946年以降で最も高くなり、記録的な高温となった。また、秋雨前線の日本付近での活動は下旬の一時的なもののみで、東日本の月間日照時間はかなり多くなり、特に東日本 日本海側では統計を開始した1946年以降で最も多くなった。

平成 24 年夏期（7 月～9 月）の熱中症による救急搬送状況

（「夏期（7月～9月）」を、以下「夏期」という。）

1. 集計 1 平成 24 年夏期の都道府県別熱中症による救急搬送状況
2. 集計 2 夏期の全国の熱中症による救急搬送状況（平成 22 年～24 年）
3. 集計 3 夏期の都道府県別月別熱中症傷病者搬送人員（平成 22 年～24 年）
4. 集計 4 平成 24 年夏期の都道府県別月別熱中症傷病者総搬送人員
5. 集計 5 夏期の都道府県別熱中症による救急搬送状況（平成 22 年～24 年）
6. 集計 6 平成 24 年夏期の都道府県別人口 10 万人当たりの熱中症傷病者搬送人員

集計1

平成24年夏期の都道府県別熱中症による救急搬送状況

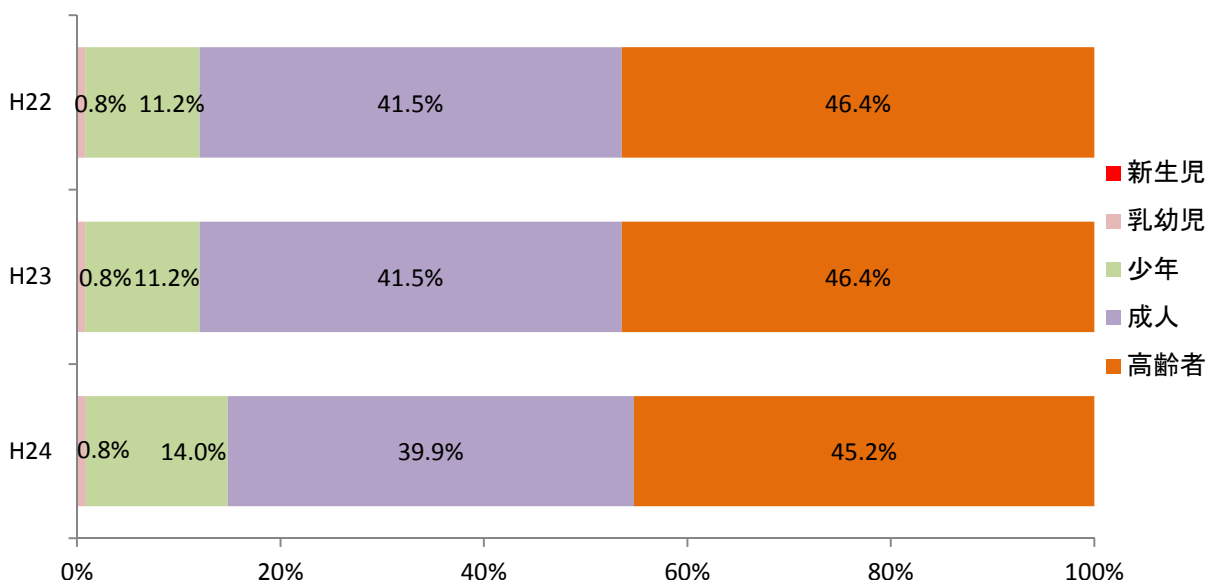
都道府県		平成24年7月1日～9月30日											
		年齢区分(人)					初診時における傷病程度(人)						
		新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
1	北海道	0	10	87	429	505	1,031	1	18	278	710	24	1,031
2	青森県	0	2	57	146	244	449	1	16	148	276	8	449
3	岩手県	0	3	56	170	259	488	1	9	153	325	0	488
4	宮城県	0	7	135	343	337	822	1	24	414	382	1	822
5	秋田県	0	6	53	186	285	530	2	13	130	371	14	530
6	山形県	0	0	66	142	202	410	0	19	131	255	5	410
7	福島県	0	4	89	321	499	913	1	15	280	616	1	913
8	茨城県	1	10	235	507	482	1,235	1	29	397	808	0	1,235
9	栃木県	0	2	83	278	355	718	1	30	233	454	0	718
10	群馬県	1	8	177	289	417	892	1	22	311	555	3	892
11	埼玉県	1	16	381	1,214	1,235	2,847	7	60	887	1893	0	2,847
12	千葉県	0	17	237	859	809	1,922	1	47	744	1130	0	1,922
13	東京都	0	32	322	1,460	1,276	3,090	0	93	1206	1791	0	3,090
14	神奈川県	0	26	279	872	827	2,004	2	70	718	1212	2	2,004
15	新潟県	0	11	161	475	497	1,144	3	29	234	851	27	1,144
16	富山県	0	5	64	153	168	390	4	13	99	274	0	390
17	石川県	0	3	58	197	248	506	4	8	123	302	69	506
18	福井県	0	4	40	149	135	328	0	4	121	203	0	328
19	山梨県	0	3	23	88	89	203	0	1	88	114	0	203
20	長野県	0	10	119	231	308	668	0	16	214	419	19	668
21	岐阜県	0	5	140	288	375	808	1	23	388	396	0	808
22	静岡県	0	10	155	415	445	1,025	1	22	248	751	3	1,025
23	愛知県	0	25	352	1,154	1,094	2,625	2	34	764	1822	3	2,625
24	三重県	0	6	97	296	337	736	2	7	124	540	63	736
25	滋賀県	0	10	83	214	243	550	4	12	114	420	0	550
26	京都府	0	16	133	421	757	1,327	3	20	446	858	0	1,327
27	大阪府	0	19	461	1,142	1,127	2,749	2	18	676	2050	3	2,749
28	兵庫県	0	21	290	755	903	1,969	5	28	592	1338	6	1,969
29	奈良県	0	7	97	197	253	554	1	19	175	353	6	554
30	和歌山県	0	2	76	179	219	476	0	5	120	338	13	476
31	鳥取県	0	3	49	123	174	349	1	6	155	182	5	349
32	島根県	0	1	77	135	202	415	3	14	166	226	6	415
33	岡山県	0	5	160	382	513	1,060	1	12	273	757	17	1,060
34	広島県	0	7	140	387	518	1,052	1	42	466	542	1	1,052
35	山口県	0	2	58	197	222	479	0	11	144	305	19	479
36	徳島県	0	1	30	87	167	285	2	9	100	140	34	285
37	香川県	0	6	66	170	227	469	0	14	193	252	10	469
38	愛媛県	0	6	104	226	325	661	2	6	165	488	0	661
39	高知県	0	0	44	108	182	334	2	8	90	207	27	334
40	福岡県	0	17	231	672	725	1,645	1	20	736	873	15	1,645
41	佐賀県	0	1	64	168	144	377	4	4	95	248	26	377
42	長崎県	0	5	80	215	277	577	0	24	285	268	0	577
43	熊本県	1	4	120	310	373	808	1	17	188	600	2	808
44	大分県	0	2	53	146	234	435	1	5	163	266	0	435
45	宮崎県	0	2	77	160	178	417	0	7	122	274	14	417
46	鹿児島県	1	5	103	242	341	692	1	12	276	402	1	692
47	沖縄県	0	5	59	220	116	400	1	5	75	309	10	400
合	計【人】	5	372	6,121	17,518	19,848	43,864	73	940	14,248	28,146	457	43,864
割	合	0.0%	0.8%	14.0%	39.9%	45.2%		0.2%	2.1%	32.5%	64.2%	1.0%	

集計2

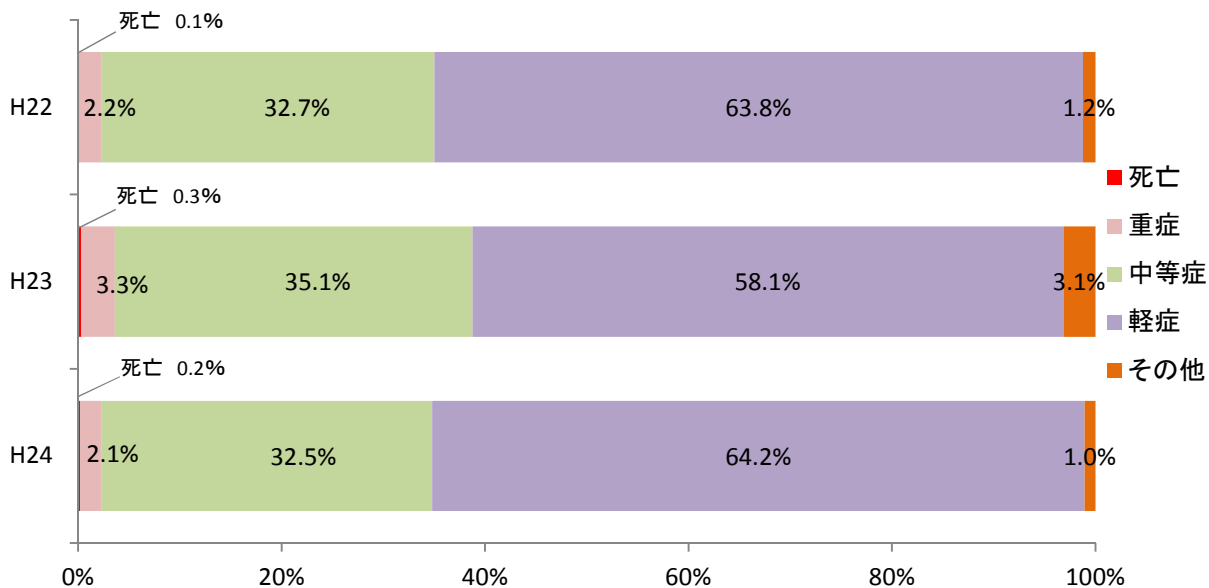
夏期の全国の熱中症による救急搬送状況(平成22年～平成24年)(表・グラフ)

	年齢区分(人)						初診時における傷病程度(人)					
	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
H22年	0	434	6,045	22,361	25,003	53,843	167	1,773	18,924	31,291	1,688	53,843
	0.0%	0.8%	11.2%	41.5%	46.4%		0.1%	2.2%	32.7%	63.8%	1.2%	
H23年	0	366	5,555	16,136	17,432	39,489	59	906	12,739	24,887	898	39,489
	0.0%	0.9%	14.1%	40.9%	44.1%		0.3%	3.3%	35.1%	58.1%	3.1%	
H24年	5	372	6,121	17,518	19,848	43,864	73	940	14,248	28,146	457	43,864
	0.0%	0.8%	14.0%	39.9%	45.2%		0.2%	2.1%	32.5%	64.2%	1.0%	

年齢区分別搬送割合



傷病程度別搬送割合



集計3

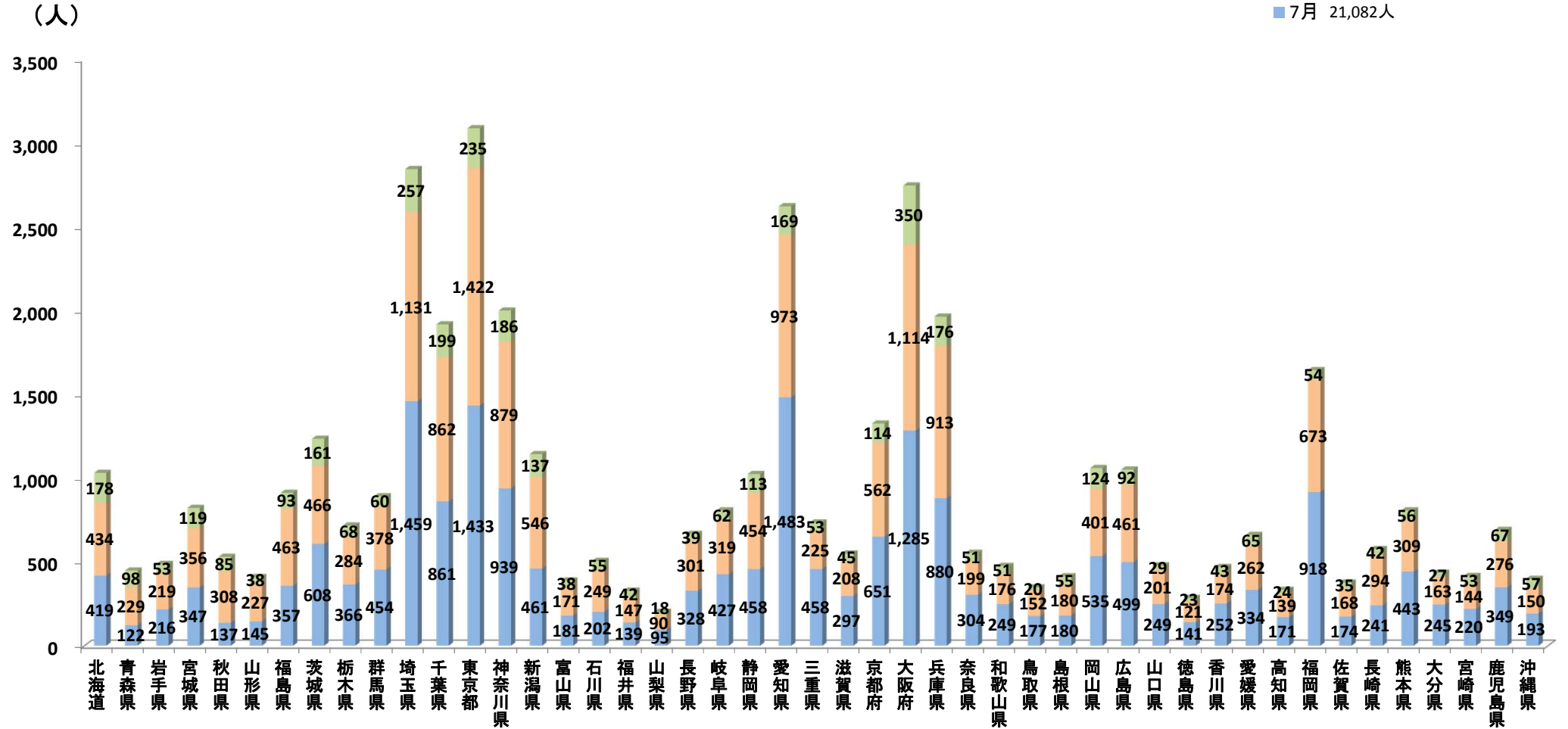
夏期の都道府県別月別熱中症傷病者搬送人員(平成22年～24年)

都道府県	熱中症搬送人員(人)									
	平成22年 7月	平成23年 7月	平成24年 7月	平成22年 8月	平成23年 8月	平成24年 8月	平成22年 9月	平成23年 9月	平成24年 9月	平成24年 (7月～9 月)合計
1 北海道	125	236	419	521	352	434	93	19	178	1,031
2 青森県	114	122	122	347	143	229	50	30	98	449
3 岩手県	154	257	216	381	170	219	44	13	53	488
4 宮城県	410	436	347	546	306	356	94	48	119	822
5 秋田県	89	201	137	374	129	308	49	32	85	530
6 山形県	152	173	145	367	104	227	33	29	38	410
7 福島県	339	405	357	498	355	463	110	84	93	913
8 茨城県	492	473	608	680	443	466	206	170	161	1,235
9 栃木県	389	354	366	430	323	284	126	116	68	718
10 群馬県	463	450	454	556	401	378	131	126	60	892
11 埼玉県	1,484	1,257	1,459	1,688	1,357	1,131	507	293	257	2,847
12 千葉県	833	827	861	1,219	949	862	386	231	199	1,922
13 東京都	1,526	1,427	1,433	2,136	1,692	1,422	583	299	235	3,090
14 神奈川県	954	815	939	1,339	1,118	879	349	225	186	2,004
15 新潟県	376	530	461	846	406	546	133	118	137	1,144
16 富山県	159	148	181	221	129	171	44	22	38	390
17 石川県	200	226	202	347	142	249	73	40	55	506
18 福井県	117	139	139	209	100	147	49	21	42	328
19 山梨県	133	108	95	155	113	90	51	34	18	203
20 長野県	289	311	328	396	252	301	82	60	39	668
21 岐阜県	385	328	427	459	307	319	195	67	62	808
22 静岡県	551	408	458	684	541	454	292	93	113	1,025
23 愛知県	1,669	1,227	1,483	1,716	1,151	973	515	218	169	2,625
24 三重県	370	276	458	420	309	225	125	34	53	736
25 滋賀県	193	224	297	341	193	208	91	31	45	550
26 京都府	422	467	651	774	463	562	215	90	114	1,327
27 大阪府	1,055	916	1,285	2,120	982	1,114	616	302	350	2,749
28 兵庫県	709	691	880	1,501	711	913	362	164	176	1,969
29 奈良県	243	223	304	392	186	199	109	42	51	554
30 和歌山県	143	182	249	257	162	176	80	39	51	476
31 鳥取県	103	152	177	222	103	152	43	34	20	349
32 島根県	116	133	180	227	113	180	74	26	55	415
33 岡山県	288	346	535	657	369	401	188	82	124	1,060
34 広島県	345	454	499	779	396	461	211	95	92	1,052
35 山口県	162	204	249	384	176	201	78	47	29	479
36 徳島県	77	74	141	181	115	121	42	15	23	285
37 香川県	138	149	252	328	191	174	100	48	43	469
38 愛媛県	193	228	334	393	222	262	107	49	65	661
39 高知県	123	115	171	215	152	139	96	19	24	334
40 福岡県	598	670	918	1,164	563	673	265	121	54	1,645
41 佐賀県	111	148	174	228	120	168	49	40	35	377
42 長崎県	134	254	241	328	188	294	101	66	42	577
43 熊本県	224	313	443	418	205	309	124	50	56	808
44 大分県	161	213	245	261	155	163	42	37	27	435
45 宮崎県	131	144	220	195	150	144	91	22	53	417
46 鹿児島県	201	339	349	342	218	276	146	63	67	692
47 沖縄県	107	190	193	206	141	150	95	56	57	400
合計	17,750	17,963	21,082	28,448	17,566	18,573	7,645	3,960	4,209	43,864

集計4

平成24年夏期の都道府県別月別熱中症傷病者総搬送人員

■ 9月 4,209人
■ 8月 18,573人
■ 7月 21,082人



夏期の都道府県別熱中症による救急搬送状況(平成22年～24年)

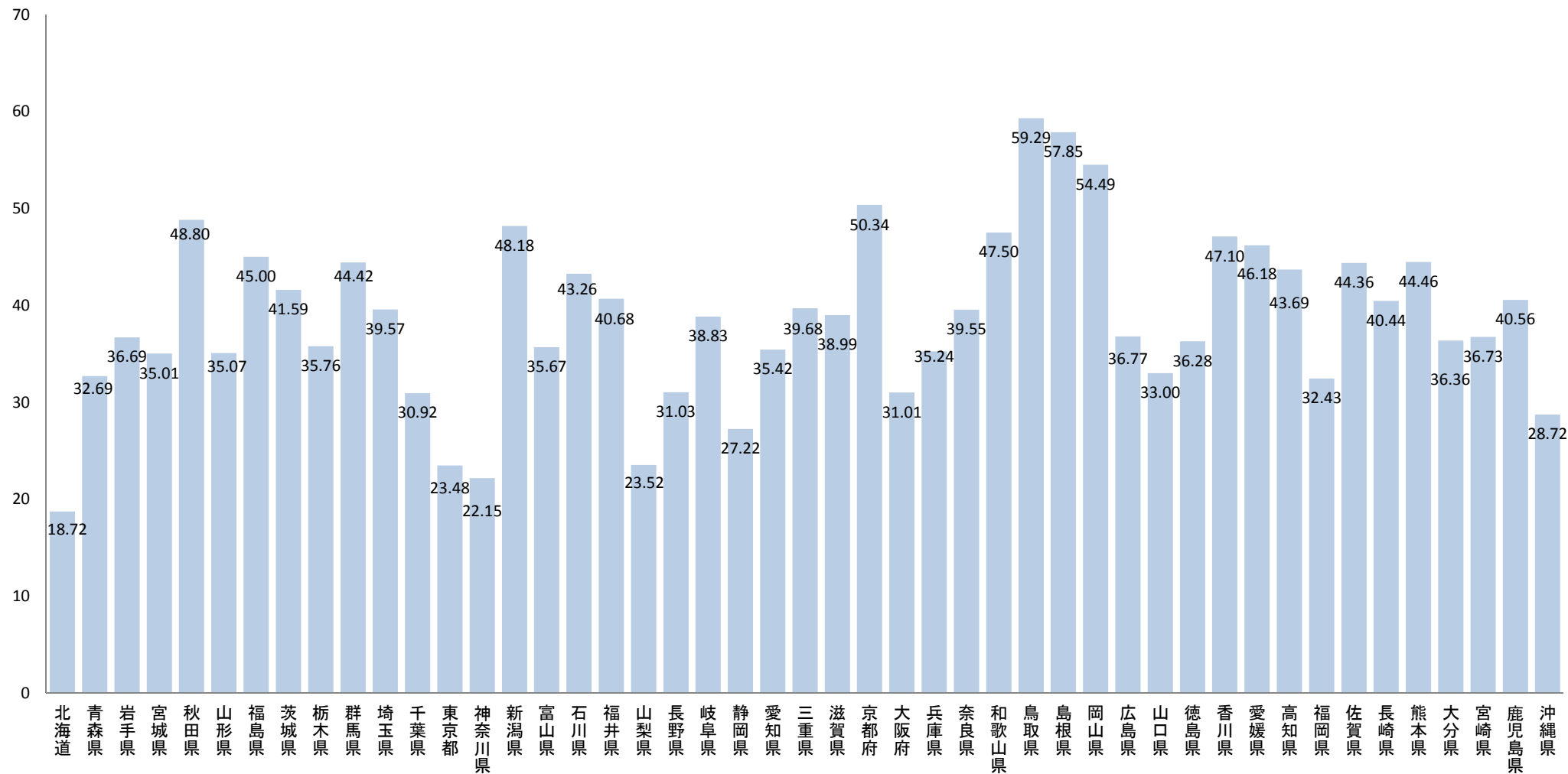
都道府県		7月1日～9月30日							
		平成22年熱中症 搬送人員(人)		平成23年熱中症 搬送人員(人)		平成24年熱中症 搬送人員(人)		平成23年比 (割合)	平成22年比 (割合)
		うち人口10万人当たりの 搬送人員(人)	うち人口10万人当たりの 搬送人員(人)	うち人口10万人当たりの 搬送人員(人)	うち人口10万人当たりの 搬送人員(人)				
1	北海道	739	13.13	607	10.79	1,031	18.72	1.70	1.40
2	青森県	511	35.57	295	20.53	449	32.69	1.52	0.88
3	岩手県	579	41.80	440	31.77	488	36.69	1.11	0.84
4	宮城県	1,050	44.49	790	33.47	822	35.01	1.04	0.78
5	秋田県	512	44.70	362	31.60	530	48.80	1.46	1.04
6	山形県	552	45.39	306	25.16	410	35.07	1.34	0.74
7	福島県	947	45.28	844	40.36	913	45.00	1.08	0.96
8	茨城県	1,378	46.32	1,086	36.50	1,235	41.59	1.14	0.90
9	栃木県	945	46.86	793	39.32	718	35.76	0.91	0.76
10	群馬県	1,150	56.81	977	48.27	892	44.42	0.91	0.78
11	埼玉県	3,679	52.15	2,907	41.21	2,847	39.57	0.98	0.77
12	千葉県	2,438	40.25	2,007	33.14	1,922	30.92	0.96	0.79
13	東京都	4,245	33.75	3,418	27.18	3,090	23.48	0.90	0.73
14	神奈川県	2,642	30.05	2,158	24.55	2,004	22.15	0.93	0.76
15	新潟県	1,355	55.73	1,054	43.35	1,144	48.18	1.09	0.84
16	富山県	424	38.14	299	26.90	390	35.67	1.30	0.92
17	石川県	620	52.81	408	34.75	506	43.26	1.24	0.82
18	福井県	375	45.64	260	31.65	328	40.68	1.26	0.87
19	山梨県	339	38.33	255	28.83	203	23.52	0.80	0.60
20	長野県	767	34.93	623	28.37	668	31.03	1.07	0.87
21	岐阜県	1,039	49.31	702	33.31	808	38.83	1.15	0.78
22	静岡県	1,527	40.26	1,042	27.48	1,025	27.22	0.98	0.67
23	愛知県	3,900	53.76	2,596	35.78	2,625	35.42	1.01	0.67
24	三重県	915	49.01	619	33.16	736	39.68	1.19	0.80
25	滋賀県	625	45.28	448	32.46	550	38.99	1.23	0.88
26	京都府	1,411	53.29	1,020	38.52	1,327	50.34	1.30	0.94
27	大阪府	3,791	43.00	2,200	24.95	2,749	31.01	1.25	0.73
28	兵庫県	2,572	46.01	1,566	28.01	1,969	35.24	1.26	0.77
29	奈良県	744	52.35	451	31.73	554	39.55	1.23	0.74
30	和歌山県	480	46.33	383	36.97	476	47.50	1.24	0.99
31	鳥取県	368	60.62	289	47.61	349	59.29	1.21	0.95
32	島根県	417	56.18	272	36.65	415	57.85	1.53	1.00
33	岡山県	1,133	57.89	797	40.72	1,060	54.49	1.33	0.94
34	広島県	1,335	46.41	945	32.85	1,052	36.77	1.11	0.79
35	山口県	624	41.81	427	28.61	479	33.00	1.12	0.77
36	徳島県	300	37.04	204	25.19	285	36.28	1.40	0.95
37	香川県	566	55.91	388	38.32	469	47.10	1.21	0.83
38	愛媛県	693	47.21	499	34.00	661	46.18	1.32	0.95
39	高知県	434	54.50	286	35.92	334	43.69	1.17	0.77
40	福岡県	2,027	40.14	1,354	26.81	1,645	32.43	1.21	0.81
41	佐賀県	388	44.78	308	35.55	377	44.36	1.22	0.97
42	長崎県	563	38.08	508	34.36	577	40.44	1.14	1.02
43	熊本県	766	41.58	568	30.83	808	44.46	1.42	1.05
44	大分県	464	38.36	405	33.48	435	36.36	1.07	0.94
45	宮崎県	417	36.17	316	27.41	417	36.73	1.32	1.00
46	鹿児島県	689	39.30	620	35.36	692	40.56	1.12	1.00
47	沖縄県	408	29.96	387	28.42	400	28.72	1.03	0.98
合 計		53,843		39,489		43,864			

集計6

平成24年夏期の都道府県別人口10万人当たりの熱中症傷病者搬送人員

総搬送人員 43,864人

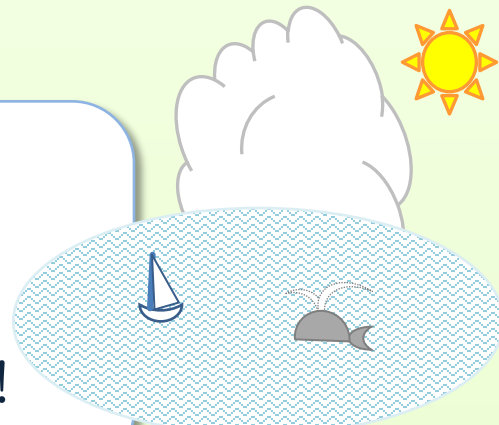
(人)



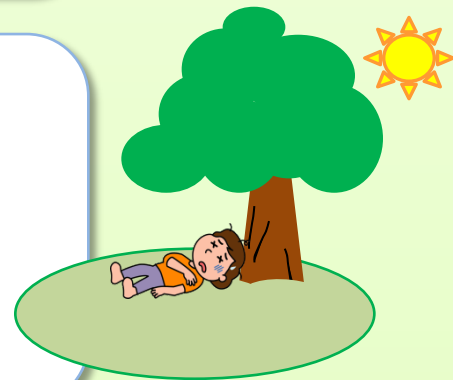
熱中症を予防して元気な夏を！



夏に向けて、熱中症になる人が増えてきます。
熱中症を知って、しっかり予防し、楽しい夏を過ごしましょう！



このリーフレットでは、熱中症の症状や応急手当を紹介しています。



救急車を呼んで、一刻も早く病院へ行くべき状態や症状についても紹介しています。
当てはまる場合は、ためらわずに119番しましょう。

※消防庁で作成した「救急車利用マニュアル」も合わせてご覧ください
消防庁HP「<http://www.fdma.go.jp/>」の右側の「救急車利用マニュアル」をクリック

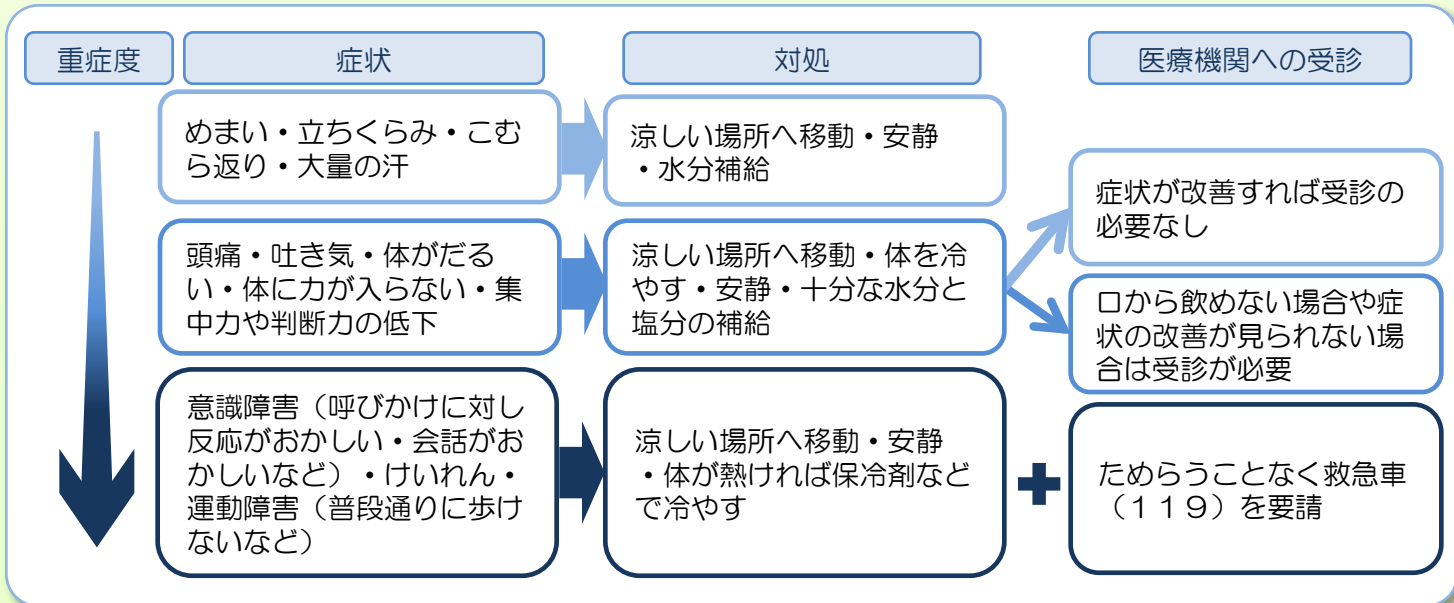
【memo】

熱中症とは？

熱中症とは、室温や気温が高い中での作業や運動により、体内の水分や塩分（ナトリウム）などのバランスが崩れ、体温の調節機能が働かなくなり、体温上昇、めまい、体がだるい、ひどいときにはけいれんや意識の異常など、様々な症状をおこす病気です。

家の中でじっとしていても室温や湿度が高いために、熱中症になる場合がありますので、注意が必要です。

熱中症の分類と対処方法



こんな時はためらわずに救急車を呼びましょう



- 自分で水が飲めなかったり、脱力感や倦怠感が強く、動けない場合は、ためらわずに救急車を呼んでください
- 意識がない（おかしい）、全身のけいれんがあるなどの症状を発見された方は、ためらわずに救急車を呼んでください

熱中症予防のポイント

- ☺ 部屋の温度をこまめにチェック！
(普段過ごす部屋には温度計を置くことをお奨めします)
- ☺ 室温28℃を超えないように、エアコンや扇風機を上手に使いましょう！
- ☺ のどが渴いたと感じたら必ず水分補給！
- ☺ のどが渴かなくてもこまめに水分補給！
- ☺ 外出の際は体をしめつけない涼しい服装で、日よけ対策も！
- ☺ 無理をせず、適度に休憩を！
- ☺ 日頃から栄養バランスの良い食事と体力づくりを！



子供の特徴

地面の照り返しにより、高い温度にさらされる



汗腺などが未熟

体温調節機能が未熟なため、
熱中症にかかりやすい

保護者の方へ

- 👉 お子さんの様子を十分に観察しましょう！
- 👉 遊びの最中には、水分補給や休憩を！
- 👉 外出時の服装に注意し、帽子も忘れずに！
- 👉 日頃から栄養バランスのとれた食事や運動、遊びを通して暑さに負けない体づくりを実践しましょう！

高齢者の特徴

汗をかきにくい



暑さを感じにくい

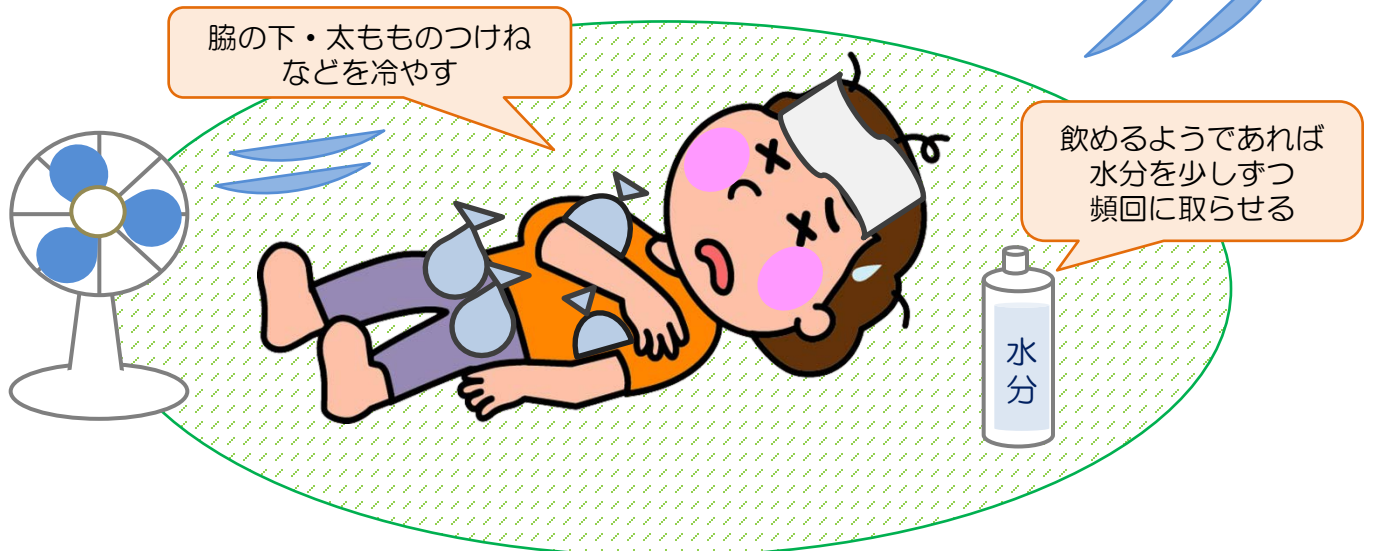
体温を下げるための体の反応が弱くなっており、
自覚がないのに熱中症になる危険がある

熱中症にならないために

- 👉 室温をこまめにチェックし、エアコンや扇風機等を活用！
- 👉 のどが渴かなくても水分補給！
- 👉 調子が悪いと感じたら、家族や近くの人にそばにいてもらいましょう！

+ 熱中症の応急手当 +

- + 涼しい場所へ移動し、衣服を緩め、安静に寝かせる
- + エアコンをつける、扇風機・うちわなどで風をあて、体を冷やす

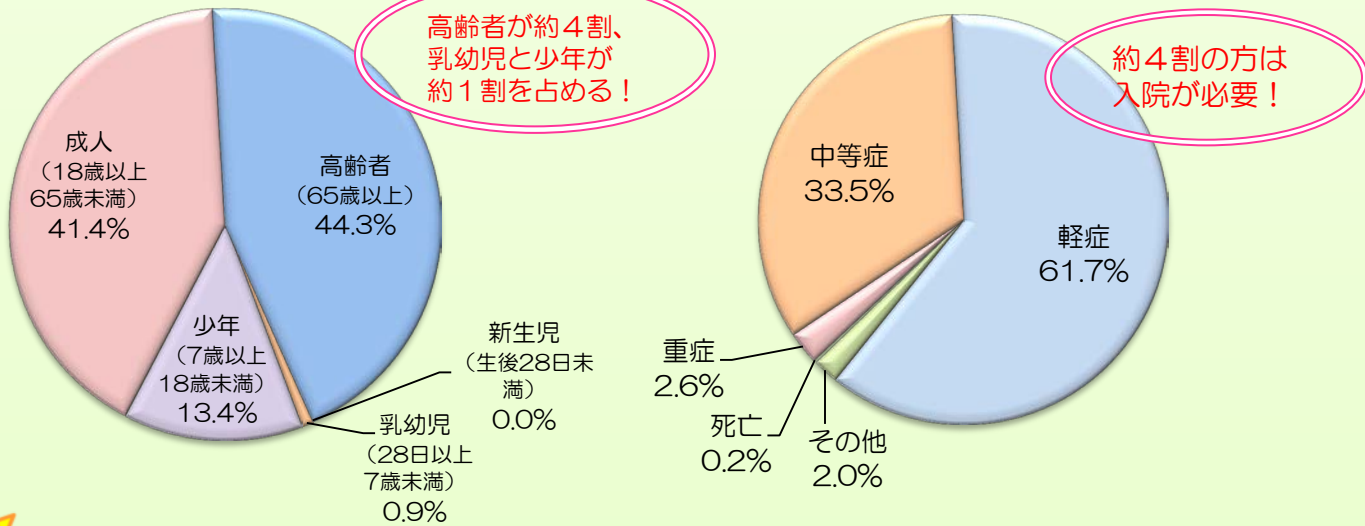


☀️ 持病をお持ちの方やお子さんは、かかりつけの医師とあらかじめ相談し、熱中症対策についてアドバイスをもらっておきましょう

消防庁では、平成20年より夏期（7月～9月）における熱中症による救急搬送の全国調査を実施しています。年代別では、高齢者が4割を占めており、また、乳幼児と少年を合わせて1割以上となっています。

7月～9月の熱中症による救急搬送者の内訳（平成20年～平成24年合計）

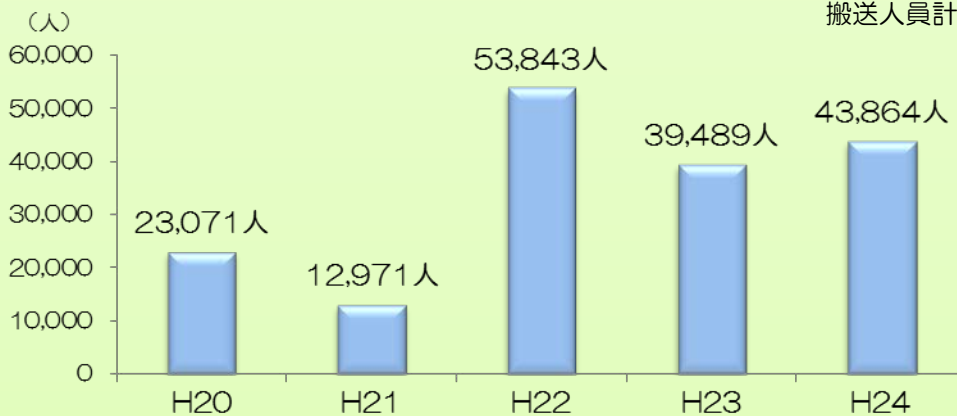
搬送人員計 173,238人



また、平成20年からの熱中症による救急搬送者数の推移をみると、記録的な猛暑だった平成22年以降、毎年約4万人が救急搬送されています。熱中症の増加は、気温や湿度の上昇と関係があることが分かっています。

熱中症による救急搬送者の推移（平成20年～平成24年 7月～9月）

搬送人員計 173,238人



熱中症は予防ができる病気です。暑い夏を元気に過ごすため、熱中症のことをよく知り、しっかり予防しましょう。心臓や腎臓、その他持病をお持ちの方は、夏の過ごし方についてかかりつけの医師に相談し、上手にコントロールしましょう。

◆ 消防庁では、HP上で熱中症の救急搬送状況調査の速報を週ごとに公表しています
URL：<http://www.fdma.go.jp/>

参考

環境省：「熱中症環境保健マニュアル」http://www.env.go.jp/chemi/heat_stroke/manual.html